

ご購入・ご試読のお申し込み

0120-83-4946

https://www.nikkei4946.com/tg/



複数回の試読お申し込みは、お断りさせていただく場合があります。

電子版アドレス

https://www.nikkei.com/

天皇陛下即位を宣明

「象徴つとめ果たす」

皇居で正殿の儀

天皇陛下が即位を国内外に宣明される「即位礼正殿(せいでん)の儀」が22日、皇居・宮殿「松の間」で行われた。天皇陛下は「国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います」と述べられた。儀式には国内外から約2千人が参列した。

勢を示された。

この後、安倍首相が「一同こぞって心からお慶(よろこび)申し上げます」と祝辞の「寿詞(よごと)」を述べ、万歳を二唱し参列者らが唱和した。

即位礼は、正殿の儀と祝宴の「饗宴(きょうえん)の儀」に加え、両陛下が皇居から赤坂御所までパレードする「祝賀御列(おんれつ)の儀」がある。パレードについては台風19号による災害対応に万全を期すため、政府は11月10日に延期することを決めた。

「即位礼正殿の儀」で、即位を宣明する天皇陛下(22日午後、宮殿・松の間) 一代表撮影

即位礼は1990年11月以来、29年ぶりで、現行憲法の下で2度目。平成時の方式をほぼ踏襲した。安倍晋三首相ら三権の長、約180カ国と国際機関の代表者らが参列した。儀式では、天皇専用の装束、黄櫨染御袍(こうるぜんのごほう)をまとった陛下と十二単(ひとえ)を着た皇后さま

だが、松の間に設置された高御座(たかみくら)と御帳台(みちやうだい)の上それぞれ立たれた。

陛下は上皇さまの約30年の在位期間について「御(み)心を御自身のお姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し」と触れつつ、「国民の幸せと世界の平和」を願う姿





「高御座」に立つ天皇陛下。右は「御帳台」に立つ皇后さま(22日午後、宮殿・松の間)＝代表撮影



雨が降るなか、即位礼を祝うため皇居周辺に集まった人たち(22日午前、東京都千代田区)



「賢所大前の儀」を終えた天皇陛下と皇后さま(22日午前、皇居・賢所)＝代表撮影

